



2025年11月21日

各 位

会社名 株式会社fonfun
代表者名 代表取締役社長 水口 翼
(コード:2323、スタンダード市場)
問合せ先 取締役 兼 コーポレートソリューション本部長 八田 修三
(TEL:03-5365-1511 <https://fonfun.co.jp/contact/>)

決算説明会Q&A書き起こし公開およびアーカイブ動画公開のお知らせ

2025年11月18日に開催いたしました当社2026年3月期第2四半期オンライン決算説明会のアーカイブ動画のご案内および質疑応答含めた書き起こし記事についてお知らせいたします。本資料の記載内容は決算説明会での発表および質疑応答をそのまま書き起こしたのではなく、ご理解いただきやすいように一部加筆修正をしております。あらかじめご了承ください。なお、回答内容については現時点で当社が把握しうる限りの情報をもとにしております。今後の環境の変化等により、多少の齟齬が生じる可能性がございますが、直近の当社の考えとして記載しております。

記

2026年3月期 第2四半期
決算説明会

2025年
11月18日(火)
19:00～
オンライン開催

fonfun
東証STD:2323

代表取締役社長
水口 翼

決算説明会
アーカイブ動画

<https://youtu.be/l-dvRG1vdAM0>

書き起こし記事コンテンツ
(Q&A含む)

<https://note.com/fonfun2323/n/na7f86d7ee764>

Q1. 今後も M&A されていく中で PMI 実施やシナジーを高めさせる為の体制についてお聞かせください。

当社の経営体制が 2023 年に刷新されて以降、実施した M&A も 9 件となり、PMI(合併・買収後の経営統合プロセス)についても、経験を重ねてまいりました。M&A の実施のみで連携効果やシナジーが自動的に創出されるものではなく、相互理解のもとで構築していくことが重要です。M&A により fonfun の一員になった社員も増えており、その経験も生かして、全社的な受け入れ体制も整いつつあると考えております。

Q2. 26 年 3 月期 1Q と比較して 2Q の純利益額の増加はマイクロウェーブデジタル、M&A DX の業績が貢献したという認識でよろしいでしょうか。他にもありますか。

当社は単体決算を行っております。そのため持分法適用会社であるマイクロウェーブデジタル社、M&A DX 社の業績が、財務諸表へ直接合算されることは現時点においてはございません。2Q の純利益額の増加は、1Q までに M&A を実施したビジネスの利益貢献が積みあがった結果とご理解いただければと思います。

Q3. M&A DX の大型受注を考慮すると 3Q での年間純利益達成が見えてくるかと思います。上方修正などは行わないのでしょうか。

こちらの質問についても Q2.と同様で、当社は単体決算を行っておりますので、持分法適用会社である M&A DX 社の大型受注は当社単体の売上高・利益額には影響はなく、上方修正は行われていないということになります。

Q4. 1Q と 2Q で比較すると売上額が+200 万円となっています。年間予想売上からすると 3、4Q で売上高増加が必要のように見えます。売上高増加の見込みや目標達成のために特に注力すべきと考えるサービスはどの領域でしょうか。

中期経営計画で掲げている連結売上高 20 億円に対して、8 月に公表した業績予想では売上高 19 億円と、足りていません。中期経営計画を達成するためには、下半期に M&A を実施する必要があると考えています。売上高と同時に利益も重視しており、特にどの領域と限定はせずに、しっかり利益を出してさらに成長につながる M&A に取り組んでまいります。

Q5. M&A 実施後の事業の進捗状況で、減損リスクのありそうな案件はありますか。

減損リスクの有無や可能性については、様々な観点よりお答えすることが難しいですが、今後も適切に事業のモニタリングを行い、減損リスクが顕在化した場合はお知らせいたします。

Q6. SES の事業とフリーランス SES の事業はどのようにすみわけをしていますでしょうか。

SES(システムエンジニアリングサービス)はクライアントが必要とするソフトウェア開発のリソースを提供するサービスです。様々なクライアントのニーズを社内の人材だけで満たせなかった場合、外部パートナーやフリーランスエンジニアと連携して対応することになりますが、その際、両者の明確な区分けは設けておりません。

Q7. SES 事業はエンジニアの採用が売上に直結すると思いますが、エンジニア人材の採用方針についてお聞かせください。

ご指摘の通り SES 事業はエンジニアの人数が業績に直結します。そのため、積極的にエンジニアの採用活動を行っておりますが、当社のみならず、市場全体としてエンジニア採用の難易度が高い状況です。

当社は SES 事業関連の M&A を 3 件実施しておりますが、これらの M&A は、顧客を獲得し事業規模を拡大する営業面の狙いがある一方で、エンジニアを獲得する一種の採用活動という意味合いもあり、引き続き取り組んでまいります。

Q8. 社長の X での発信も、いつも楽しみに拝見しております。今回も素晴らしい決算内容であったにもかかわらず、株価が下落してしまい大変残念に感じております。今後の株価対策やご方針についてお伺いできましたら幸いです。

業績に関しては昨年対比で大幅に伸びておりますが、株価については市場の評価に結び付いていない状況と認識しております。時価総額 100 億円という目標を掲げておりますので、引き続き投資家の皆さま・株式市場の関係者からしっかりと 100 億円以上の価値がある会社と認められるように事業、IR 活動を行っていきたいと考えております。

ご質問については当社公式サイト等より、常時受け付けておりますので以下よりお気軽にご連絡をお願いします。

公式サイト : <https://www.fonfun.co.jp/contact/>

X 質問箱(匿名) : <https://x.com/fonfun2323>

また、過去のオンライン決算説明会の動画は以下の URL にてご覧いただけます。

https://www.youtube.com/playlist?list=PLeToG1kVk_K6bp1hi16fbXRQewrmpLJxS

以上